

吉田町牧之原市広域施設組合
リサイクルセンター整備工事

審 査 講 評

平成 27 年 7 月 8 日

吉田町牧之原市広域施設組合

目 次

1	事業の目的と概要	1
2	審査委員会	1
3	選定方法	2
4	審査スケジュール	2
5	審査結果の概要	3
5-1	参加資格審査	3
5-2	提出要請者の辞退	3
5-3	基礎審査	3
5-4	技術提案書審査	3
5-5	経済性審査	5
5-6	評価点の算出及び技術的に最適な者の特定	5
6	審査委員会講評	6
7	契約	6

1 事業の目的と概要

現在のリサイクルセンターは、現存する旧焼却施設を利用して平成11年から稼働しているものであるが、建物の老朽化が著しく、倒壊の危険性もあり、一刻も早く対応が求められるものである。また、リサイクル業務に関しても、現行のリサイクル関連諸法令の施行に伴うごみ質の変化に対応できなくなっていることも踏まえ、既存施設の解体撤去と、解体跡地に現行のリサイクル関連諸法令に対応したマテリアルリサイクル推進施設を整備することにより資源化率を向上させるものである。

2 審査委員会

吉田町牧之原市広域施設組合は、「吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター整備工事プロポーザル審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）を設置し、表1に示す委員を選任した。

表1 審査委員会委員一覧

	氏名	職名/役職名
委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長
副委員長	安田 憲二	一般社団法人国際環境研究協会 環境研究総合推進費プログラムオフィサー
委員	須永 宣	吉田町 副町長
委員	杉本 基久雄	牧之原市 副市長
委員	山住 和恵	吉田町 理事
委員	池ヶ谷 弘巳	牧之原市 政策理事
委員	八木 利幸	吉田町牧之原市広域施設組合 事務局長

3 選定方法

選定方法は、公募型プロポーザル方式を採用した。

事業の公募に基づき、参加表明者から資格審査申請書等の書類提出を受け、参加資格要件等の審査を行い、審査要件を満たす参加表明者を提出要請者として定め、技術提案書等の提出を求めた。

提出要請者の技術提案書等については、基礎審査、プレゼンテーション及び質疑応答を踏まえ、審査委員会において「吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター整備工事審査基準書」に基づく評価採点を行い、技術提案審査点を定めた。

なお、技術提案審査にあたっては、20分のプレゼンテーションを実施し、要望や課題に対する提案的確性及び工事の実現性について説明する機会を付し、その後、各委員から質疑応答を行い、終了後に各委員がそれぞれ評価採点を実施した。

加えて、経済性審査により経済性審査点を定め、技術提案審査点と経済性審査点の合計点数が最も高い提出要請者を技術的に最適な者として特定した。

今回の審査にあたっては、提出要請者を匿名とし、公平性を確保した。

4 審査スケジュール

審査委員会の開催状況及び審査結果等の公表状況は、表2に示すとおりである。

表2 審査委員会の開催状況及び審査結果等の公表状況

日 程	内 容
平成27年3月27日	第1回審査委員会 (委員長、副委員長の承認、審査基準等の審議)
平成27年4月17日	プロポーザル実施公告、実施要綱等の閲覧
平成27年4月28日	資格審査結果の通知
平成27年6月 4日	技術提案書等の提出期限
平成27年6月16日	第2回審査委員会(基礎審査)
平成27年6月17日	第3回審査委員会(技術提案審査、技術的に最適な者の特定)
平成27年6月29日	工事仮契約
平成27年7月 6日	議会承認(工事請負業者の決定)
平成27年7月 8日	公表

5 資格審査の概要

5-1 参加資格審査

表3に示す3社より資格審査申請書類の提出があった。吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター整備工事プロポーザル実施要領に基づき、提出された資格審査申請書類の審査を行った結果、参加表明者3社を合格とし、技術提案書等の提出要請者として定め、その旨通知を行った。

表3 資格審査申請者一覧

参加表明者	参加資格者番号
A社	1
B社	2
C社	3

5-2 提出要請者の辞退

提出要請者3社のうち、参加資格者番号3より参加辞退届が提出され、これを受理した。その後、提出要請者2社から期限までに技術提案書等の提出を受けたが、参加資格者番号2より技術提案書等の提出取下げと辞退の申出を受け、これを受理した。

このことにより、基礎審査以降の審査に関しては参加資格者番号1の1社による審査を実施した。

5-3 基礎審査

参加資格者番号1から提出された基礎審査に関する提案書（見積設計図書）の内容が、要求水準書等に示す要件を満たしているか否かを審査した。

その結果、参加資格者番号1の提案は基礎審査に合格しているものと認められた。

5-4 技術提案書審査

参加資格者番号1から提出された技術提案書等をもとに、各審査委員が技術提案審査の評価項目について、AからEの5段階評価を行い、提案内容を点数化し各審査委員の点数を取りまとめた平均点を算出した。（配点80点）

審査に際し、審査委員会で提出要請者によるプレゼンテーションや質疑応答を実施し、参加資格者番号1から提案内容の説明や委員による質疑を行った。

技術提案審査結果を表4に示す。

表4 技術提案審査結果（参加資格者番号1）

No	評価項目	評価事項	判断基準	配点	点数 (平均点)	
1	業務の実現性	(1) 工事計画や工事手順の妥当性と信頼性	敷地内で、現業のリサイクル受付業務を行いながら旧焼却施設解体撤去工事及びマテリアルリサイクル推進施設建設工事行う上で実現性があり、安全性、効率性、経済性を考慮した工事計画や工程手順となっているか評価する。	10	8.3	
		(2) 企業評価 (建設工事実績)	同種業務の建設工事実績を評価する。	解体工事	5	5
				整備工事	5	5
		小 計				20
2	旧焼却施設 解体撤去工事	(1) 除染工事に係る提案	粉じんの発生及び周辺環境への拡散防止に配慮した除染工法の提案がなされているか評価する。	10	7.7	
		(2) 作業環境に係る提案	作業員のばく露防止対策と作業環境の確保について適切な配慮がなされているか評価する。	10	8	
		(3) 解体工事に係る提案	機器設備(焼却炉)、建屋(煙突)の解体において、粉じんの飛散防止対策工法が提案されているか評価する。	10	7.7	
		(4) 解体撤去後の適正処理方法の提案	解体撤去後、適正な埋戻し及びダイオキシン類含有廃棄物の処理方法が提案されているか評価する。	10	7.7	
		小 計				40
3	工事に伴う 施設周辺の 安全対策と対応	(1) 工事に伴う施設 周辺の安全対策に係る提案	施設周辺を把握し、茶摘み作業や一般通行車両に配慮した安全対策(工事車両通行計画等)が取られているか評価する。	20	17.2	
4	マテリアル リサイクル 推進施設建設 工事	(1) 施設配置計画、維持管理、概観イメージに係る提案	施設配置は、周辺環境を考慮した配置、概観イメージとなっているか、経済性や維持管理性について要求水準書に記載していない事項で独自提案しているか評価する。	20	15.4	
合 計×0.8				80	65.6	

※点数は、各審査委員が評価した点数の平均点を示すものである。

評価	評価内容	点数化の方法
A	提案の内容に非常に大きな期待ができる。	配点×5/5
B	提案の内容に大きな期待ができる。	配点×4/5
C	提案の内容に期待ができる。	配点×3/5
D	提案の内容にあまり期待ができない。	配点×2/5
E	提案の内容にほとんど期待ができない。	配点×1/5

5-5 経済性審査

参加資格者番号1より提出された参考工事見積書により経済性審査を実施した。
(配点20点) 経済性審査点の算出は、下記の算定式を用いた。なお、参考工事見積金額は見積限度額の730,000,000円(税込)の範囲内とし、上回る場合は失格とした。

経済性審査結果は、表5に示すとおりであった。

<経済性審査算定式>

$$\text{経済性審査点} = 20 \times \text{最低見積価格} / \text{見積価格}$$

※審査対象事業者が1社であることから見積価格が最低見積価格となる。

表5 経済性審査結果

	見積限度額	730,000,000円
参加資格者番号1	見積価格	726,840,000円
	経済性審査点	20点

5-6 評価点の算出及び技術的に最適な者の特定

「審査基準書」に従って表6に示すとおり評価点を算出した。

表6 評価点の算出結果

項目	配点	参加資格者番号1
技術提案審査点	80点	65.6点
経済性審査点	20点	20.0点
評価点	100点	85.6点

※評価点=技術提案審査点+経済性審査点

戸田建設株式会社静岡総合営業所(参加資格者番号1)を技術的に最適な者として特定し、本工事の優先交渉権者とした。

6 審査委員会講評

本工事事業者の選定においては、最終的な技術提案審査の事業者が限定される結果となったが、審査委員会においては、公平公正な審査を確保することに十分に意を払ってきたところであり、客観的な審査基準を設定し、適正な審査を行うことができたと考えている。

同事業者の提案内容は、十分評価できるものであり「業務の実現性」、「旧焼却施設解体撤去工事に関する提案」、「工事に伴う施設周辺の安全対策と対応」、「マテリアルリサイクル推進施設建設工事に関する提案」において要求水準を満足する提案がなされていた。いずれも、経験豊富な実績に基づき、技術面及び経済面の双方で高いレベルのものであったが、より一層、本工事要求水準書や現地状況に配慮し、ダイオキシン類に係る環境調査や汚染状況調査の方法に関しては、調査内容の向上を期待したい。

また、近隣耕作者に対し、農作業に支障をきたすことがないように敷地内外での対応について充実させるとともに、地元住民に対しても十分な説明を行い、作業の安全性について理解いただいたうえで工事に取り組んでもらいたい。

今後、組合事務局と十分な調整のもと、近隣耕作者及び施設関係者との連携を図り、より良い施設整備を行うとともに、吉田町及び牧之原市における循環型社会の形成に寄与することを期待したい。

7 契約

吉田町牧之原市広域施設組合は、吉田町牧之原市広域施設組合リサイクルセンター整備工事について、優先交渉権者となった戸田建設株式会社静岡総合営業所と仕様内容等の確認を行った上で、本工事請負契約に係る見積徴取を行い、当組合議会の議決をもって下記のとおり契約を締結した。

工事請負者	請負金額	工 期
戸田建設株式会社 静岡総合営業所	726,840,000円 (消費税込)	平成27年7月6日から 平成28年9月30日まで